



受験生に問題冊子を配布する監督官(西日本工業大で)

### センター志願者 県内は2万5031人

大学入試センター試験が始まった16日、県内でも31会場で地理歴史・公民、国語、外国語の試験が行われた。大学入試センターによると、県内の志願者数は前年よりも119人多い2万5031人。最終日の17日は理科と数学の試験が実施される。

北九州・京築地区では8会場で実施された。西日本工業大おぼせキャンパス(苅田町)では、受験生たちが参考書やノートを開き、最後の確認をしていた。北九州市立大(小倉南区)でも大勢が受験した。初日終了後、小倉高の山崎里紗

さん(17)は「最初の科目は少し緊張したが、国語やリスニングは良くできたと思う。今日は少し勉強してから休み、明日に備えます」と笑顔を見せた。



ほっとした表情で試験会場から出てくる受験生ら

### 受験生ら安堵の表情 センター試験終了

大学入試センター試験2日目の17日、県内でも理科

と数学の試験が行われ、全日程が終了した。

苅田町の西日本工業大・おぼせキャンパスでは、京築地区や北九州市の高校に通う現役生や、浪人生が試験に臨んだ。

受験生らは選択科目の試験が終わると、ほっとした表情で会場から出てきて、友人らと出来具合などを話していた。

国立大学を志望している育徳館高(みやこ町)3年の大友恭彰さん(17)は「(16日にあった国語の)古文は読みやすかったが、数学と理科は苦戦した。2次試験などがあるので、挽回できるように勉強を続けたい」と話していた。